



「Zekkei いばらきフォトコンテスト2019」
【パワースポット賞】古木が生い茂る樹叢
表紙写真提供：茨城県営業戦略部観光物産課

ひたちなか市にある酒列磯前神社は、856年（斉衡3年）に創建されたと伝えられています。同社の主祭神は、医療医学の祖神、すくなひこなのみこと少彦名命です。古くから病氣平癒、健康長寿、事業繁栄、醸造発展、温泉の神様として、信仰を集めてきました。

酒列磯前神社は「さかつら様」という愛称で親しまれています。「酒列」という名称は、奈良時代末期に編纂された日本最古の和歌集『万葉集』にも記載されており、歴史の奥深さを感じることができます。

また、神社の周辺を囲む古木の杜「樹叢」は、この地における本来の自然植生の姿を後世に伝えるものとして、学術的にも大変貴重であると評価されています。

酒列磯前神社の樹叢は38,837㎡で、県内一の広さを誇ります。同社が現在の地に遷宮された1702年（元禄15年）以降、神社や氏子組織の手によって大切に管理・保護され、2005年（平成17年）には、茨城県指定文化財（天然記念物）に指定されました。

この地は、元来ツバキが自然に密生していたことから、「椿山」と呼ばれています。本殿へと続く約300mの参道には、樹齢300年を越える「ヤブツバキ」の古木が織りなす荘厳なトンネルが掛かり、参拝者を迎え入れています。

新型コロナウイルス感染症が終息した後、ご家族・ご友人とともに、古来よりこの地を見守ってきた樹叢に包まれながら、さかつら様を参拝されてみてはいかがでしょうか。



◆場所：茨城県ひたちなか市磯崎町4607-2

◆アクセス：

【車】北関東自動車道「ひたち海浜公園IC」より約10分

【電車】ひたちなか海浜鉄道湊線「磯崎駅」より徒歩で約10分